

「川の日」ワークショップもついに 8 回を数えました。今回何よりもうれしかったことは、豊田市の方々が、心意気とホスピタリティを、際立った形で示してくださったことです。開会式では、雅の象徴ともいえる能楽堂の舞台に鈴木市長と並んで席が用意され、閉会式には同じ建物のホールで、おそらく新設では世界に例がないパイプオルガンの響きに聴き入ることができました。豊田市が、世界の文化都市として名を轟かす日が間近に迫っていることを実感しました。

文化を愛でる心は自然を愛でる心と一つです。豊田市では 94 年に、市が漁協や農業団体とのパートナーシップで「豊田市矢作川研究所」をつくり、さらにさまざまな団体との連携により、「矢作川『川会議』実行委員会」を結成し、「矢作川宣言」を発するなど、すばらしい「協働」が育っています。この活動は第 4 回のワークショップのグランプリに輝き、さらに第 6 回には、市立西広瀬小学校の 1 万日の水質調査が、準グランプリに選ばれました。毎日の川の水質調査が 1 万回を超えるためには 30 年近い年月を要します。最初の年の 6 年生がなんと 40 歳になるのです。ここでは、自然と人との間に、歳月を超えた「いい関係」が育っているといえましょう。

昨年閉会の際、「豊田市の皆さんの心意気を感じて、来年ぜひ豊田に集まりましょう」と申し上げました。参加者の数を心配する向きもなかったわけではありませんが、72 件の応募があり、現地委員会には、うれしい悲鳴をあげていただく結果となりました。

今回は一次選考でできるだけ十分な質疑をしてもらうため、テーブル A から N まで 14 に分けました。うち M と N の、小学生と中学・高校生の部は野外の「児ノ口公園」に会場が設定されましたが、ここは地元のおじさんたちの手と汗で、プール跡地が緑と生き物の場に蘇った場所です。そしてまた、子供たちには希望に応じて西広瀬小学校との交流が設定されましたが、大変な好評でした。

そして交流懇親会は、古崩水辺公園で行われました。ここは自然石の水制工や護岸で地域の人たちが矢作川をよみがえらせた、活動の原点の場所でもあります。河川敷にテントを張り、手づくりの大パーティが行われました。この大変な作業に加えて、テントのレンタル代、移動の大型バスの費用など、想像を絶します。「並みの雨ぐらいは大丈夫だが、河川敷が水につかる豪雨だけは困る」という周到な準備でしたが、幸い天候には恵まれました。まさに地域の人々のパートナーシップの力によって、自然を肌で感じる場と、文化薫る開会・閉会の場の両方を用意していただいたのです。あらためて、裕代表はじめ、現地委員会、そしてそれをサポートしていただいた方々に感謝の意をささげたいと思います。

今回のグランプリには、富栄養化が進む小川原湖での活動を続けている青森県三沢市立根井小学校が選ばれました。全校児童数 9 人という小さな小学校で、上級生から下級生までが一緒になって活動し、シジミが広く生育することに米作りの大敵であるヤマセという冷たい風が関係していることなども、発見しています。この学校は来年度からは統合されてなくなりますが、いろんな工夫によって、活動が時を超えて続くことを期待したいと思います。

最後に、この会を河川整備基金の助成によって支えていただいている河川環境管理財団はじめ、関係各位に深甚の謝意を表させていただきたいと思います。

「川の日」ワークショップ実行委員長  
宮口 侗迪

## 第8回「川の日」ワークショップ in 矢作川

- 主催：「川の日」ワークショップ実行委員会
- 共催：第8回「川の日」ワークショップ 矢作川現地委員会
- 後援：豊田市、愛知県、国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所

### 「川の日」ワークショップ実行委員会

<b>北海道地域</b>	磯 ちづ子	田中 信明	吉村 伸一	宮口 侗迪	篠原 亨	濱崎 勝	五道 仁実
荒関 岩雄	井出 隆雄	土屋 十圀	霊山 智彦	森 誠一	竹原 和夫	原口 泉	小林 稔
太田 昇	伊東 孝	鏑山 英次	渡部 一二	森山 奈美	美甘 頼昭	原田 秀夫	佐藤 寿延
菊池 静香	犬山 清史	堂本 泰章	<b>中部地域</b>	<b>近畿地域</b>	<b>四国地域</b>	右田 いくみ	清水 裕
工藤 達人	伊納 浩	内藤 裕子	石月 升	大滝 裕一	福永 泰久	宮地 元	関 克己
熊木 朋子	入江 隆彦	長野 正孝	延藤 安弘	嘉田 由紀子	<b>九州・沖縄地域</b>	村田 幸博	谷本 光司
嶋田 浩彦	小倉 紀雄	並木 直美	大熊 孝	片寄 俊秀	赤坂 宗昭	山口 徳雄	塚原 浩一
田丸 典彦	神谷 博	萩原 なつ子	小田 稔彦	川上 聰	磯辺 信之	吉田 勉夫	泊 宏
中村 太士	君塚 芳輝	廣崎 芳次	風間 ふたば	高畑 正	井上 大輔	<b>その他</b>	中津川 誠
山内 忠明	桑子 敏雄	百武 ひろ子	北村 眞一	上田 豪	上野 敏孝	足立 敏之	藤巻 浩之
<b>東北地域</b>	小堀 洋美	福富 洋一郎	木村 精治	中農 一也	榎本 敬子	池内 幸司	藤芳 素生
小山 隆春	佐藤 年緒	松井 正澄	近藤 朗	朴 恵淑	岡 裕二	入江 靖	藤田 光一
金子 博	品田 穰	水谷 正一	相楽 治	橋本 夏次	幸野 敏治	岩崎 福久	古川 博一
高橋 万里子	柴田 敏隆	三井 元子	桜井 善雄	福広 勝介	崎山 正美	海野 修司	正木 孝治
新川 達郎	島村 雅英	宮本 善和	竹内 礼子	遊鷹 正秀	島谷 幸宏	岡下 淳	宮武 晃司
水戸部 浩子	島村 勇二	望月 史郎	中村 文明	<b>中国地域</b>	駄田井 正	尾澤 卓思	森本 輝
<b>関東地域</b>	白瀧 敏弘	矢萩 隆信	碓 さくら	池田 満之	田中 秀子	上総 周平	安田 実
荒木 稔	竹田 純一	山道 省三	原 隆一	小田 博之	寺田 麗子	金尾 健司	山内 博
石田 幸彦	田中 哲夫	山本 耕平	福澤 浩	小谷 寛二	土井 裕子	栗原 秀人	(承諾142名)

- 協力団体：NPO 法人 全国水環境交流会，NPO 法人 自然環境復元協会，社団法人 日本河川協会
- 事務局：NPO 法人 全国水環境交流会

### 第8回「川の日」ワークショップ矢作川現地委員会

今井 忠良	梅村 隼二	小野 吉朗	河合 良三	倉地 格	小林 禎司	近藤 朗	澤井 延禎
杉浦 静穂	高木 優	柘植 孝之	新見 幾男	碓 さくら	水野 修	南 重則	村山 秀夫
本守 真人	安田 明弘	渡邊 省吾					
<b>活動部会</b>	石原 紀彦	伊藤 昌明	今枝 久	岩尾 憲治	近藤 朗	玉置 芳幸	中条 義氏
中田 良政	永井 公広	永谷 永一	成瀬 順次	新見 克也	間野 隆裕	三宅 則克	村山 隆之
<b>事務局</b>	宮田 昌和	鷲野 正国	高橋 聡				

- 協力団体：○ 矢作川「川会議」実行委員会（矢作川を筏で下る会・矢作川漁業協同組合・矢作川天然アユ調査会・古岸水辺公園愛護会・波岩水辺公園愛護会・石倉水辺公園愛護会・アド清流愛護会・梅坪水辺愛護会・御船せせらぎ広場愛護会・西広瀬町矢作川水辺愛護会・百々水辺愛護会・児ノロ公園管理協会・愛知県豊田加茂建設事務所建設第二課・豊田市役所河川課・豊田市矢作川研究所）  
○ 愛知・川の会 ○ 名古屋市水辺研究会 ○ 矢作川水源の森・森のプレゼント事業実行委員会  
○ 木づかい市民ネット
- 第8回「川の日」ワークショップ in 矢作川は「河川整備基金」の助成を受けています。「愛・地球博とよたサテライト事業」としても位置付けられています。

## 第9回「川の日」ワークショップは・・・ 2006年7月22日(土)・23日(日)

次回 第9回「川の日」ワークショップは、一旦東京に戻り、国立オリンピック記念青少年総合センターほかで開催する予定です。2006年5月頃 募集開始予定！詳しくは事務局まで

「川の日」ワークショップは、各種助成金等を受け、「川の日」ワークショップ実行委員会が主催・運営しています。開催・運営につきましては、次回以降も企業等からのご支援を頂きたいと考えております。詳しい内容等、また、過去の開催の記録集、選考資料等につきましては、下記事務局までお問合せください。

2005年11月発行  
「川の日」ワークショップ実行委員会  
事務局：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14 神宮村 301 (NPO 法人 全国水環境交流会)  
TEL：03-3408-2466 FAX：03-5772-1608 E-MAIL：kawanohi-2006@mizukan.or.jp  
「川の日」ワークショップホームページ <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>